

**地球環境学科プロジェクト「HIT☆ハリー」がペット防災をテーマに活動を展開
— 絵本制作・啓発イベントを通じて「ペットと命を守る防災」を発信 —**

学校法人鶴学園 広島工業大学（所在地：広島市佐伯区三宅 2-1-1）環境学部 地球環境学科のプロジェクト「HIT☆ハリー」は、昨年よりペット防災をテーマとした取り組みを行っています。本プロジェクトは、「防災 100 年えほんプロジェクト」の「第 3 回 入選作品・震災 30 年部門」において、同学科の猪股雅美助教（ペンネーム：たましろ こう）が入選した物語『ハリーとぼく』をきっかけに、学生たちが物語に共感し、絵本化をめざしたことから始まりました。

2026 年は絵本の制作に加え、ペット防災の重要性を伝えるイベントの開催や、日ごろからペットとともに避難するための防災準備の啓発、避難時の持ち物チェックシートの配布などを予定しています。

また、阪神・淡路大震災発生から 31 年となる 1 月 17 日を機に、「ペットと命を守る防災」について改めて考え、行動につなげることをめざしています。

■地球環境学科プロジェクト「HIT☆ハリー」とは

広島工業大学では、学生の課外活動の一環として、地域と連携しながら社会課題の解決に取り組む「社会実践プロジェクト」を推進しています。「HIT☆ハリー」はその一つで、地球環境学科の 1 年次から 3 年次までの学生 10 名で構成されたプロジェクトです。メンバーのうち 3 名は防災士の資格を有し、「学生防災士会」としても活動しています。

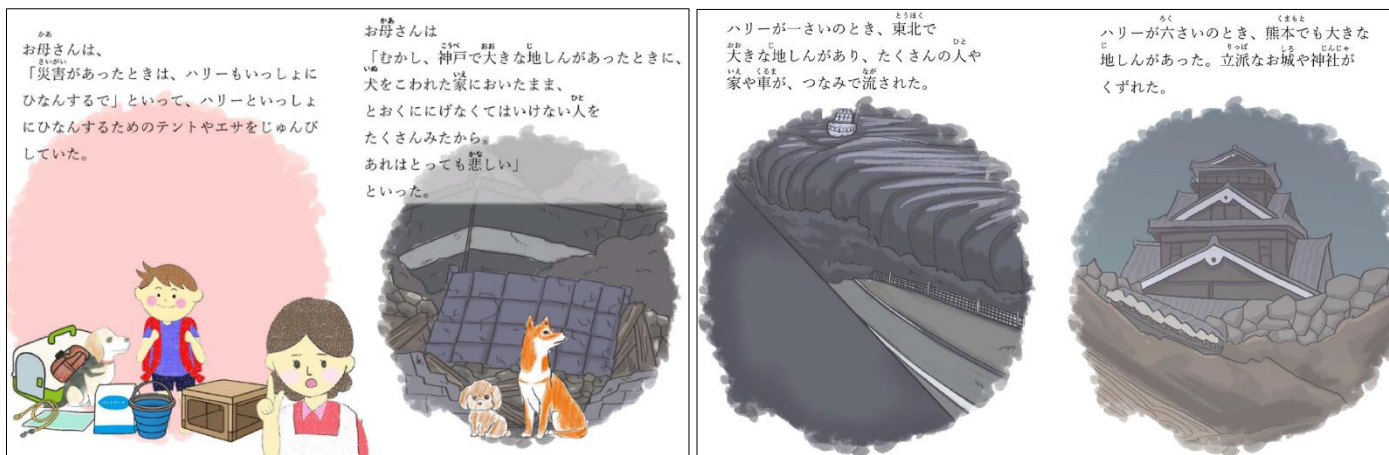
本プロジェクトは、これまで防災活動に積極的に関わる機会がなかった学生が、絵本制作をきっかけに防災に関心を持ち、主体的に学ぶことを目的として企画されました。現在は、ペット防災を軸とした啓発活動に取り組んでおり、ペットを飼っている人に限らず、飼っていない人にも、災害時におけるペット防災の重要性を広く知ってもらうことをめざしています。

■「防災 100 年えほんプロジェクト」とは

「防災 100 年えほんプロジェクト」は、人と防災未来センターが運営する「防災 100 年えほんプロジェクト実行委員会」が主催し、2022 年より実施されている取り組みです。災害の記憶や教訓を次世代へ伝え、防災意識を長期的に育むことを目的としています。絵本という表現手法を通じて、子どもから大人まで幅広い世代が防災について考えるきっかけを創出し、災害から 100 年先の未来へ教訓を語り継ぐことをめざしています。第 3 回（2024 年）には 82 作品の応募があり、その中から 7 作品が入選しました。本学教員による『ハリーとぼく』もその一つであり、現在は本学美術部員を含む学生 3 名が挿絵を担当し、絵本制作の準備が進んでいます。

■今度の主な活動予定

- ・2026 年 1 月 18 日（日）：BOSAI IGNITION 2026（広島市安佐北多目的交流広場）にてパネル展示
- ・2026 年 3 月 28 日（土）・29（日）：THE OUTLETS HIROSHIMA で開催される「わんわんイベント」にて、ペット防災に関する啓発イベントを実施予定
- ・物語『ハリーとぼく』の絵本化をめざし、「防災 100 年えほんプロジェクト」へ応募



物語『ハリーとぼく』 一部抜粋 【原作】たましろ こう 【絵】真田 敬平、土井 鈴菜、原本 心（「HIT☆ハリー」メンバー）

■地球環境学科のプロジェクト「HIT☆ハリー」代表コメント

環境学部 地球環境学科 3年次生 おおもと りつ 大本 立



誰もが手に取り、多くの人に思いを伝えることができる「絵本」という形を通して、家族の一員であるペットと一緒に避難できる環境をつくりたいという思いから、本プロジェクトに参加しました。

現在、多くの避難所ではペットとの同伴避難が難しく、同行避難が可能であっても別々の場所で避難せざるを得ないケースが少なくありません。こうした現状を踏まえ、ペットの命を守るためには、避難先の確認だけでなく、日頃からの備えが重要であると感じています。本プロジェクトに関わった人たちにとって、ペット防災について考え、日常の備えを見直すきっかけとなれば幸いです。

■教員コメント

環境学部 地球環境学科 助教 いのまた まさみ 猪股 雅美



本プロジェクトでは、学生が主体となってペット防災の課題に取り組んでいます。ペット防災専門家による講演会や工大祭での展示などを通じて、メンバーの学生たちは「ペットと命を守る防災」について多くの気づきを得ており、問題点の整理や解決策の検討、チェックシートの作成などを主体的に進めています。その姿はとても頼もしく感じます。物語『ハリーとぼく』に学生が描いた絵が添えられ、大学祭で展示された際には深く感動しました。

私は防災教育と災害地質を研究テーマとしており、今後もこの活動を支援していきたいと考えています。

■取材について

取材日については事前に固定しておりません。取材をご希望の方は、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。日程は個別に調整させていただきます。

内容に関する各種お問合せ	TEL：082-921-4367（直通） E-mail：m.inomata.ny@it-hiroshima.ac.jp 担当：環境学部 地球環境学科 助教 猪股 雅美
取材に関する各種お問合せ （取材の申し込み先）	TEL：082-921-3128（直通） FAX：082-921-8946 担当：広報部 石田 知世 E-mail：kouhou@tsuru-gakuen.ac.jp